

會計部報告

不況の深刻化に伴ひ、工場閉鎖、事業縮の結果、失業者
 続出したのであるが、一方、組合の擴大も行はれ、差引二
 千名の増加を見たことは、組織部報告にも明かである。然
 し乍ら、組合費納入成績は、この増加に伴はざる憾があつ
 た。これは言ふ迄もなく、不況の影響である。その未納率
 約三割強を示して居る。但し、これは關東釀造労働組合を
 除き、主として地方部に屬する組合に未納が多いのである
 から、本同盟の中堅組合たる、東京、神奈川等に本部を有
 する組合の納入成績は大體良好である。
 支出の主たるものは、人件費である。これは、組合の基
 礎が中小工場に在り、且つ、不況の結果大小の労働條件に
 關する問題が、續出しつゝあり、又争議は比較的深刻化す
 る結果、勢ひ、之れを處理する爲に各組合と共に本同盟も
 人件費を増さねばならぬ結果となつて居る。將來、團體協
 約運動の進展、勞資關係合理化に伴ひ、組合員數の増加に
 比して人件費は減するであらう。また、そうしなければな
 らぬと信ずる。

次で備品費の壹千八百八拾餘圓中壹千八百圓也は、神奈

川労働會館建設の爲めに貸出したものであるが事實上本
 同盟の一會館としての費用を負担せるものとし之を備品費
 中に計上支出したものである。
 基本金は、前年度に近き増加率を示し一萬二千八百拾四
 圓餘となつた。
 本年より新に設けたる事業部會計報告は加盟組合支部の
 事務様式統一の爲め會計原簿、金銭出納簿、會計領收用カ
 ード、記録簿等の作成並に會旗其他の取次代理をなしたる
 ものである。

罷業相互金庫も、本年度に於て、三千三百八十二圓を積
 立て、總額二萬三百餘圓となつた。
 別表「會計狀態累年表」に依つても明な如く、年々健實
 な成績を示しつゝあることは、同慶の次第である。

決算報告 (自昭和五年九月一日
 至昭和六年八月三十一日)

内 容	一ヶ月平均	前年度收支
1. 通常會計		
收入總計	28,677.95	27,464.38
支出總計	29,676.57	27,184.99
差引過不足	998.62	279.39
前年越高	4,329.14	4,049.75
次年度越高	3,330.52	4,329.14
收入内訳		
會費	27,257.87	2,271.49
入會金	920.15	76.68
寄附金	233.63	19.47
預金利息	250.00	20.83
雑収入	16.30	1.35
合計	28,677.95	2,389.83
支出内訳		
總同盟費	15,630.40	1,302.53
徴章代	895.10	74.59
人件費	4,035.00	336.25
會議費	330.95	27.58
交通費	478.37	39.85
通信及發送費	470.25	39.18
文具及消耗品費	224.24	18.69
小物印刷物費	211.30	17.61
備品費	1,888.30	157.35
擴張宣傳費	738.20	61.52
争議費	2,582.12	215.18
補助費	587.00	48.92